



Polaris news

【北高ニュース NO.202206】

「フリー・ザ・チルドレン・ジャパンによるワークショップ」 貧困や児童労働について (2022.7.12)

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの方に来ていただき、1年G組を対象にワークショップを行いました。児童労働についての説明やペアになってシミュレーションカードゲームをしました。カード1枚1枚に書かれていることが実際にあったことだと聞き、生徒たちは驚きを隠せない様子でした。ゲームではありますが、一人ひとり違う人生を歩み体験することで、貧困や児童労働について深く考えることができました。最後に、GIFT(好きなこと・得意なこと)+ISSUE(解決したい社会問題)=CHANGE(アクションのアイディア)を考え、自分たちもアクションを起こせることに気づくことができました。



■生徒の感想より

- 児童労働のカードゲームは、ただ楽しいだけでなく、カードの内容が事実だということで、世界には厳しい環境で生活している人が多いことを知った。この重大さや早く解決しなければならない理由が痛いほど伝わってきて、どうしたらそういう人たちを救えるのか考えていきたいです。
- 12歳の少年がフリー・ザ・チルドレンを設立したことに驚きました。自分より小さい子が社会問題に関心を持ち行動を起こしたことから、自分のできる小さなことを積み重ねていけば、子どもでも世界に大きな影響を与えることができるのだと学びました。
- 「フリー（自由にする）」から英語の授業で学んだマララさんを思い出した。彼女のように命の危険にさらされても自由のために行動できる人はそうそういないと思う。だから私は今まで命が危なくなるのが怖いから行動はしないと考えていましたが、今回、自分たちに何ができるか探して書き出してみても、考えを変えることができた。まずは怖がらずに行動を起こすことが大切だと気づけた。